

とちぎ市議会だより

第62号(6月定例会)
2024.8.20発行



総務常任委員会



民生常任委員会

新メンバーで市政をチェック! ～常任委員会の新たな構成が決まりました～



産業教育常任委員会



建設常任委員会

《特集》

正副議長インタビュー	2～3
議会人事(監査委員・各委員会)	4
外部専門家の活用を政務活動費で対応	5
政務活動費収支状況報告	15

《その他の記事》

一般会計補正予算(第2号)	6
(6月定例会で決まったこと)	
表紙写真の説明	7
13人の議員が市政を質す	8～14
(一般質問)	

表紙担当：白石委員長・川田副委員長

議会 人事

に針谷正夫議員を選出



副議長 針谷 正夫



議 長 梅澤 米満

6月定例会初日、正副議長の選挙が行われました。

本市議会では、選挙の前に議長または副議長就任を希望する議員による所信表明会を開催しています。

所信表明会では、他の議員からの質疑応答もあり、その様子は全て、ケーブルテレビやインターネットを通じて生放送されました。

就任したばかりの二人に早速インタビューをしました

(聞き手 古沢委員・天谷委員)

～議長に伺います～

議長として、どのように議会を運営していくお考えですか。

議会基本条例に基づき、中立公正な立場で議会運営を行うとともに、透明性や信頼性を確保し、市民に開かれた議会を目指していきたいと思っています。

所信表明会で述べた点について、特に力を注ぎたいことは何ですか。

特に議会改革について、各議員と議論し、市民目線や市民感覚での政策立案、議員提案の実現のための研究を推進するとともに、市議会活動の見える化を積極的に行いたいと思っています。

その目標に向けて、どのような取り組みをお考えですか。

議会に寄せられた課題解決のための場

や環境の整備について検討していきたいと考えています。

そして、私たち議員が日々研さんを重ね、一人一人の資質の向上を図り、市民の福祉の増進、充実、向上に向けた活動ができるよう検討し、市民の声に答えられる議会を目指していきたいと考えています。

～副議長に伺います～

副議長として、抱負をお聞かせください。

「初心忘るべからず」ということで務めていきたいと考えています。

議長と協力し、一人と一人で二人ではなく、三人以上の力が発揮できるよう議長を補佐していきたいと考えています。

えています。

また、議員のさまざまな意見を議長に伝えるパイプ役になりたいと考えています。

特に意識することは何ですか。

「不易流行」という言葉があり、議会においても、変化すべきところと本質的に変わらないところがあると考えています。

これまでも、議会改革を重ねてきたので、それらの取り組みを継続し、深化させていく、加えて、例えば、議会報告会で把握した市民の意見の反映などさらに強化すべき取り組みも進めていきたいと考えています。



正副議長インタビューの様子
(令和6年6月10日 正副議長室にて)

議長に梅澤米満議員、副議長

選挙に先立って行われた所信表明会

議長 選挙

はじめに登壇した松本喜一議員



《所信表明の主な内容》

- ・ 予算・決算特別委員会の設置について再検討を行いたい。
- ・ 一般質問の持ち時間の延長を検討したい。
- ・ 市議会政治倫理条例の見直しを検討したい。
- ・ 社会情勢に応じて議員報酬の見直しを検討したい。
- ・ 政務活動費の支払い方法の変更を検討したい。



所信表明の内容に対して他の議員からの質問があり、おのの考えを述べました。

次に登壇した梅澤米満議員



《所信表明の主な内容》

- ・ 議会基本条例に基づき、中立公正な立場で議会運営を行うとともに、市民に開かれた議会を目指したい。
- ・ 市民目線や感覚で問題解決の政策立案や議員提案実現のための研究を推進し、市議会活動の見える化を進めたい。
- ・ 議員報酬、定数および環境を社会情勢に応じて見直し、高い知識や意欲を持つ人材が栃木市議会議員になりたいと思えるような土台づくりを進めたい。

《所信表明の主な内容》

- ・ 議長を補佐し、議会を良くしていきたい。
- ・ 議会報告会で把握した市民の意見を常任委員会や議会改革検討委員会の活動に反映する仕組みの整備を検討したい。
- ・ 議会報告会の活動を一層活性化したい。



副議長 選挙

所信表明を行う針谷正夫議員

選挙の結果

議長選挙

梅澤米満議員が15票を獲得し当選

副議長選挙

針谷正夫議員が22票を獲得し当選

投票の様子



開票の様子



各選挙で全議員（28人）が投票を行い、開票は2人の議員が立会いました。

監査委員に浅野貴之議員を選任 各委員会の構成も決まる

◎委員長 ○副委員長

議会 人事

総務常任委員会

- ◎ 小 平 啓 佑
- 小太刀 孝 之
- 小久保 かおる
- 松 本 喜 一
- 梅 澤 米 満
- 天 谷 浩 明
- 小 堀 良 江

[所管]

総合政策部 経営管理部
地域振興部 消防本部他



浅野 貴之 議員

※監査委員について

栃木市には2人の監査委員がいて、そのうち1人は議員の中から選任することになっています。監査委員は、市の財務に関する事務などについて、法令に違反していないか、効率的に行われているかを監査しています。

議会選出の監査委員には、浅野貴之議員が選任されました。
また、各常任委員会、議会運営委員会の委員も選任され、続いて正副委員長が互選されました。

建設常任委員会

- ◎ 大 浦 兼 政
- 市 村 隆
- 大 谷 好 一
- 坂 東 一 敏
- 福 田 裕 司
- 中 島 克 訓
- 関 □ 孫一郎

[所管]

都市建設部 上下水道局

産業教育常任委員会

- ◎ 福 富 善 明
- 雨 宮 茂 樹
- 針 谷 育 造
- 青 木 一 男
- 針 谷 正 夫
- 氏 家 晃
- 大阿久 岩 人

[所管]

産業振興部 教育委員会
農業委員会

民生常任委員会

- ◎ 森 戸 雅 孝
- 古 沢 ちい子
- 川 田 俊 介
- 浅 野 貴 之
- 内 海まさかず
- 広 瀬 義 明
- 白 石 幹 男

[所管]

生活環境部 保健福祉部
こども未来部

■常任委員会とは…

所管する部門の議案の審査等を専門的に行うための委員会で、議員はいずれか一つの常任委員会に所属することになっています。

■議会運営委員会とは…

議会の運営を円滑に進めるため、本会議の会議の進行等を協議する委員会です。

広報委員会

- ◎ 白 石 幹 男
- 川 田 俊 介
- 小太刀 孝 之
- 小 平 啓 佑
- 古 沢 ちい子
- 内 海まさかず
- 天 谷 浩 明

[所管]

議会だよりに関する事項

議会運営委員会

- ◎ 大 谷 好 一
- 小久保 かおる
- 小太刀 孝 之
- 針 谷 育 造
- 福 富 善 明
- 中 島 克 訓
- 関 □ 孫一郎

[所管]

議会の運営に関する事項他

市議会広報委員会 新しい委員で活動開始

今後も、皆さまに読んでいただける
「とちぎ市議会だより」の作成に努めてまいります。



【各委員の抱負】

- | | |
|---------|---|
| 白石 委員長 | 議会だよりとSNSやホームページが連動した情報発信を検討できたらと思います。 |
| 川田 副委員長 | 副委員長として委員長を補佐し、親しみやすい議会だより作成に努めてまいります。 |
| 小太刀 委員 | 市民の皆さまに分かりやすく興味を持っていただける議会だよりを目指します。 |
| 小平 委員 | 市民の方の疑問に対し分かりやすく答える議会広報に努めてまいります。 |
| 古沢 委員 | 読者の求める情報発信を意識し、伝わる議会だよりを目指します。 |
| 内海 委員 | 市民の皆さまに関心を持っていただける紙面づくりをしていきたいと思います。 |
| 天谷 委員 | 読みやすく、分かりやすく、議会に関心を持ってもらえるような紙面作成に努めます。 |

議案等調査における外部専門家の活用を政務活動費で対応 (岩舟総合運動公園サッカー専用スタジアム住民訴訟の敗訴を受けての議会の取り組み)

議会では、とちぎ市議会だより第61号（令和6年5月20日発行）でお知らせしたとおり、岩舟総合運動公園サッカー専用スタジアム住民訴訟の敗訴を受けて、今後の取り組みをお示したところです。

その取り組みの一つである「議案等調査における外部専門家の活用」について、議員間で協議を行い、外部専門家の助言を受ける際の経費を政務活動費（※）から支払うことができる仕組みを導入することといたしました。

政務活動費の支払いの対象となる外部専門家の活用に関する経費とは、「執行部から提案を受けた議案等についての相談・調査を専門家に依頼した場合に支払う報酬」です。

具体的には、市長から提出された議案、議員研究会で説明のあった案件、情報提供があった案件を対象とし、議員がそれらの調査を行うに当たって、法的な解釈などに関する助言を専門家に求めた場合の経費を政務活動費から支払うことができるようになります。（例：弁護士報酬）

この制度の導入により、必要に応じて専門家の知見を活用することで、議案等に対する調査・審査機能がより一層高まるものと期待されます。

※政務活動費

市議会議員が行う調査研究活動等に必要な経費の一部を交付するもの。

本市では、地方自治法に基づき「栃木市議会政務活動費の交付に関する条例」を定め、市議会における会派（所属議員一人の場合を含む。）に対し政務活動費を交付しています。

（政務活動費に関しては、15ページもご覧ください。）



政務活動費のページ

6月定例会で決まったこと(主な議案等)

6月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。

下記の二次元コードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



一般会計補正予算 (第2号)

議案第58号
令和6年度栃木市一般会計
補正予算(第2号)

可決 全会一致

議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ19億2179万8千円を追加し、予算総額を766億4738万1千円とするもの。

主な内容は、物価高騰対応臨時給付金支給事業費、子どもための教育・保育給付費、予防接種事業費などである。

主な質疑応答

質 防災ラジオ販売事業の今後の見通しは

答 防災行政無線を補完するものであり、今後も事業は継続していく。

質 子どものための教育・保育給付費の補正理由は

答 令和6年9月から第2子保育料免除を実施するに当たって、民間こども園等へ支払う給付費が増加したことによるものである。

質 新型コロナウイルス予防接種の概要は

答 65歳以上の方、60歳から64歳未満で心臓、腎臓、呼吸器等に障がいのある方を対象として秋以降に1回接種を予定している。

質 小学校施設整備事業費の補正内容は

答 赤津小学校において行う施設整備工事であり、車椅子利用の児童が安全に学校生活を送れるよう、バリアフリー対策として昇降口前および校庭のアプローチ部分にスロープを設置する。また、校舎内の階段および床のシートの損傷が激しいため、張り替えを行う。

都賀地域の総合支所、公民館、図書館を移転

議案第61号 栃木市役所総合支所設置条例等の一部を改正する条例の制定について

可決 全会一致



新築工事が進む都賀総合支所複合施設

議案の概要

都賀総合支所、都賀公民館、都賀図書館を移転するに当たり、関係条例の一部を改正するもの。

主な質疑応答

質 使用料の改定による影響は

答 使用料の単価基準に変更はないため、大幅な増収は見込めないが、地域拠点としての新しい複合施設であることから利用者は増加するものと見込んでいる。

岩舟文化会館 中ホールの 設備改修工事

議案第64号 工事請負契約の締結について(岩舟文化会館中ホール照明設備及び音響設備改修工事)

可決 全会一致

議案の概要

岩舟文化会館中ホール照明設備および音響設備改修工事に関し、工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めるもの。

主な質疑応答

質 改修までの経緯と工事の概要は

答 開館から30年以上が経過し、中ホールの音響と照明の設備に不具合が頻発している状況にあり、改修を行うこととした。工事の概要については、照明設備および音響設備全般の更新を行うとともに、照明のLED化を図る。

質 工事の期間は

答 令和7年7月18日までを予定している。



本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案番号と発言した議員名は次のとおりです。(○＝賛成討論 ●＝反対討論)

議案第59号 ○川田 俊介 議員

請願第 1 号 ○針谷 育造 議員

○白石 幹男 議員

○内海 まさかず 議員

議案第72号 ●内海 まさかず 議員

討論(議案第59号)

賛成(川田議員)

本補正予算は、マイナンバーカードと保険証の一体化に関する経費であり、世界のデジタル化の波に後れを取らないように進めていくべきものと考えてるので、本議案に賛成する。

討論(請願第1号)

賛成(針谷育造議員)

マイナンバーカードを巡っては問題が続出していることに加え、デジタル化が効率化に結びつかない実態も明らかになっている。何の不都合も生じていない現行の保険証を存続させることが市民のためになると考えるので、本請願の採択に賛成する。

賛成(白石議員)

多くのトラブルが報告されているマイナンバーカードの一本化には反対の立場であるが、本請願の趣旨である国民の不安が払拭されるまでは現行の保険証を存続すべきという考えに賛同し、本請願の採択に賛成する。

賛成(内海議員)

現行の保険証の廃止によりマイナンバーカードの取得が実質的に強制される。当初の約束を破り強権的に進める政府に対し抗議すべきであることから、本請願の採択に賛成する。

議案等の審議結果

6月定例会では、議案18件、請願1件、陳情1件、決議案1件が審査されました。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

○：賛成 ●：反対 —：議長のため採決に加わらない

番 号	件 名	採決結果	1 川田 俊介 真政クラブ	2 小太刀 孝之 創政会	3 市村 隆 真政クラブ	4 雨宮 茂樹 公明党議員会	5 森戸 雅孝 真政クラブ	6 浅野 貴之 かがやき	7 小平 啓佑 自民未来	8 大浦 兼政 自民未来	9 針谷 育造 創志会	10 古沢 ちい子 公明党議員会	11 大谷 好一 自民未来	12 坂東 一敏 かがやき	13 内海 まさかず 創志会	14 小久保 かおる 公明党議員会	15 青木 一男 自民未来	16 松本 喜一 自民未来	17 梅澤 米満 無党派	18 天谷 浩明 かがやき	19 針谷 正夫 無党派	20 広瀬 義明 自民未来	21 氏家 晃 自民未来	22 福富 善明 真政クラブ	23 福田 裕司 創政会	24 中島 克訓 かがやき	25 大阿久 岩人 真政クラブ	26 小堀 良江 真政クラブ	27 白石 幹男 無党派	28 関口 孫一郎 自民未来
議 案 第72号	令和6年度栃木市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願 第 1 号	国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※その他の議案17件、陳情1件、決議案1件は全会一致で可決されました。



表紙の写真

新メンバーで市政をチェック!～常任委員会の新たな構成が決まりました～

常任委員会は議案や請願を詳細に審査し、市の事務を専門的に調査するため常に設置されている委員会です。

栃木市議会には行政の各部門に対応して「総務」「民生」「産業教育」「建設」の4つの常任委員会が設置されています。

議員はいずれか一つの常任委員会に所属し、任期は2年です。今議会で、今期後半の2年間を担う常任委員会の新メンバーが選任されました。

市民の皆さまの負託に応えるために決意を新たにしています。

(表紙担当：白石委員長・川田副委員長)



「人生の締めくくり」を手助けする終活関連窓口の設置を



小久保 かおる 議員
公明党議員会

他市では、1人暮らしで身寄りがなく生活に困窮する高齢者の終活支援専用の窓口が設置されるなど、終活に関する取り組みが進んでいると聞く。

終活に関しては、市民から多数の問い合わせをいただいております、関心が高い事業であると思うが、本市における終活関連事業の実施について伺う。

答弁 首長保健福祉部長

官民連携により、高齢者の終活支援のワンストップ化を図っていく

本市における終活関連業務は、各地域にある地域包括支援センターが総合相談の一環として、窓口となっております。

○空き家対策
●高齢者の活躍推進と終活支援
○こども家庭センターの現状と今後の事業展開



また、社会福祉協議会においても成年後見をはじめとする終活関連の事業を行っているほか、民間事業所では、身寄りのない方の葬祭支援や遺品整理、死後事務委任などのさまざまなサービスを提供する事業所がある。

終活事業は、行政が行うものと、民間で行うものの役割分担が必要であり、おのおのの得意分野を担いながら相互に連携を取る体制が必要である。

本市では、既に相談対応している地域包括支援センターを総合窓口として、社会福祉協議会や民間事業所などとの官民連携により、高齢者の終活支援のワンストップ化を図っていく。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

旧下都賀総合病院北病棟跡地の整備方針は



古沢 ちえ子 議員
公明党議員会

巴波川流域の浸水対策のために、跡地の元駐車場で使用していた土地2カ所に清水川地下貯留施設を整備していることは、承知している。

防災公園のように、近隣住民の防災や災害対応の拠点となるような広場を整備し、平時には住民同士の交流や、グラウンドゴルフなど多目的に利用することができる広場とすることで近隣地域の防災力向上にぜひ創出を同時に推進できるのではないかと考えるが、市の考えを伺う。

答弁 大川市長

周辺環境等を考慮し、魅力的な空間を創出していく

跡地の整備方針については、今後、地域会議や地元自治会など地域の皆さまの声を伺いながら、庁内での検

●旧下都賀総合病院北病棟跡地の今後の整備
○地域防災計画の推進状況と防災減災の取り組み



討を進め、適切な方針を策定したいと考えている。

方針の策定に当たり、大型事業の見直しにより、財政負担の軽減や平準化を図った経緯から、整備費用および維持管理費用も検討項目として掲げ、さまざまな視点から本地域の立地特性に応じた整備をすることが重要であると考えている。

防災機能を備えた多目的広場なども、その有力な整備の一つと考えるため、周辺環境やコミュニティ形成等も考慮しながら、魅力的な空間を創出していく。



子や孫に平和な未来を残すのは大人の仕事です



針谷 育造 議員
創志会

戦前の役所の兵事係は、青年を軍隊に送り出し戦争に協力した。地方自治法改正案の「国の地方公共団体に対する補完的な指示」の創設は、このような歴史を繰り返す可能性を秘めたものではないか。

地方自治体の役割は、市民の生活を守ることであると考えるが、法案審議の中の「改正案」の内容と課題をどのように認識しているのか、「改正案」についての市長の見解を伺う。また、国に対し意見書等を出す考えについても伺う。

答弁 大川市長

国会において審議を尽くしていただきたい

地方自治法改正案の「国の地方公共団体に対する補完的な指示」の創

●地方自治法「改正」案

○水道行政

○高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会



設は、国民の生命等の保護のために特に必要な場合に、閣議決定を経て、国が地方公共団体に対し、必要な指示ができるように、特例を整備するものである。この改正は、今般の新型コロナウイルス感染症のまん延や、近年の広域かつ甚大な風水害の頻発、大規模地震の発生に鑑みると、市民の生活を守るために必要なものであると認識している。

一方、国による地方自治体への関与の特例を設けるものであることから、地方制度調査会の場において全国市長会として「国の地方公共団体に対する「指示」については、要件やその必要性について極めて限定的かつ厳格な制度とするよう十分な留意」を求めているところであり、地方自治体の自主性・自立性に配慮したものとなるよう、国会において審議を尽くしていただきたいと考える。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

物価高騰に対応し、学校給食に関する支援が必要ではないか



内海 まさかず 議員
創志会

学校給食における物価高騰分は市が補填し、家庭の負担はない。しかし、子どもがアレルギーを持つため、お弁当を持たせている家庭には、お弁当を持たせる負担の上、市からの補填はない。何らかの支援をすべきではないか。

また、物価高騰が続けば給食費を値上げせざるを得なくなるが、市長の公約である学校給食の無料化を行えば保護者の負担はなくなる。市長は公約を果たすつもりはあるのか。

答弁 大川市長

弁当等を持参している家庭に対する補助について検討していく

アレルギー対策の支援については、弁当等を持参させている保護者

●学校給食のアレルギー対策

○行政財産使用料条例

○とちぎ歳の街観光館北蔵を活用したふるさとテレワーク事業



に対し、児童、生徒が給食費無料化の対象である小学 6 年生および中学 3 年生である場合には、補助を行っているが、それ以外の学年は、給食費を徴収していないことから、補助は行っていない。

しかし、アレルギー等により、弁当等を持参している家庭の負担が増加していることは認識しているため、このような家庭に対する補助について検討していく。

また、給食費無料化の拡大については、保護者の経済的負担を軽減するという意味では子育て支援として有効な手段であると考えため、財政状況等を鑑みながら時機を見て実施していく。





雨宮 茂樹 議員
公明党議員会

移住支援策と合わせて、 保育園留学を実施しては

本市は移住支援策としてさまざまな支援策を実施しており、転入者の数が増加するなど、一定の効果が表れている。

子育て世帯の移住には、保育園の環境も重要であることから、移住体験施設の利用者のために、「こども誰でも通園制度」を活用して保育園へ体験入園できる制度を作り、保育園留学を可能とする必要があると考えるが、導入に向けた市の見解を伺う。

答弁 小川 こども未来部長

体験入園について、他市の事例を参考に研究していく

移住を希望する子育て世帯が、自然環境の豊かさや保育環境等を確認する手段として、1〜2週間家族で

○栃木市スポーツ施設
ストック適正化計画
○子育て世代の職員の働き方
●移住支援策



地域に滞在する保育園留学が活用されているものと考える。

「こども誰でも通園制度」は、子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルに対応する支援を強化するため、0歳6カ月から3歳未満の保育園などに通っていない子どもを対象に、月10時間まで、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる制度である。

しかしながら、当該制度は、試行的事業であるため、一部の自治体のみしか実施していないことや、市内に住所があることが条件となっているため、現状では「こども誰でも通園制度」を保育園留学として活用することは難しい状況にあることから、移住体験中における保育園などの体験入園については、「こども誰でも通園制度」以外の方法により対応が可能か、他市の事例を参考に研究していく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



浅野 貴之 議員
かがやき

スピード感と戦略性をもって 産業団地の整備促進を

人口減少・少子高齢社会の到来により地方自治体を取り巻く財政環境は厳しさを増しており、自主財源の確保や魅力あるまちづくり、特に新卒等若い世代が就労を希望する産業の誘致・育成は急務である。

まちづくりの基盤となる産業の誘致・育成、民間ニーズへの迅速な対応を求めるが、これまでの産業団地整備による経済効果の分析や課題、栃木市産業基盤成長戦略策定方針について伺う。

答弁 大川市長

栃木市産業基盤成長戦略を策定し、企業のニーズに 応えていく

産業団地整備の経済効果は、優良企業の立地による産業の振興や新た

●地域経済の活性化と
産業団地の整備
○がん検診のさらなる普及・啓発



な雇用の創出による消費拡大等により、地域経済の活性化や市の財政に寄与しており、千塚産業団地の立地に伴い約千人の雇用が生まれ、固定資産税と都市計画税の税収が年間約4億円となっている。

現在、栃木インター産業団地と平川産業団地の2カ所の産業団地の整備を進めているが、市内外の企業から事業拡大や移転に伴う市内立地に對する要望が多数寄せられており、将来に向けて産業用地の不足解消に取り組む必要がある。こうした課題を解決するために、企業立地の促進を図るためのビジョンを定めた栃木市産業基盤成長戦略を令和7年度の前半までに策定し、計画的に産業基盤の整備を進めていく。

今回策定する成長戦略において、市が今後行う産業団地の整備計画や、企業が立地を検討する際の誘導地域を具体的に示すことで、企業のニーズに応えられるよう努めていく。

特殊詐欺対策機器の有効活用を！



小太刀 孝之 議員
創政会

過日の新聞報道によると、令和5年の全国での特殊詐欺認知件数は1万9033件となり、直近10年間で最多となったとのことであった。中でも架空請求詐欺の被害が拡大しているとのことである。

本市においても、令和4年および令和5年でそれぞれ17件の特殊詐欺が発生していることが地域安全通信で報告されており、対策として令和4年8月から固定電話に取り付ける特殊詐欺対策機器の貸し出しを行っているが、申し込みおよび貸し出しの状況を伺う。また、特殊詐欺対策機器の概要とその効果について伺う。

答弁 茅原生活環境部長

特殊詐欺対策機器が被害の防止に効果を発揮している



特殊詐欺対策機器を接続した電話機

固定電話に取り付ける特殊詐欺対策機器の貸し出しは、令和4年度から行っており、対策機器の台数は50台で、令和4年度は20件、令和5年度は37件の貸し出しを実施した。なお、対策機器は自宅の電話に接続し、録音した通話の内容を聴く、消去するといった操作がボタン1つで可能となり、呼び出し音が鳴る前に通話内容を自動録音するというメッセージが流れるため、詐欺とおぼしき電話がかかってこなくなったとの感想をいただいていることから、特殊詐欺の被害防止に効果を発揮していると考ええる。

○市内の交通安全
●市内の防犯



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

歴史・文化に対する具体的な振興策は



青木 一男 議員
自民未来

三轟山周辺には、多くの歴史と文化の地がある。

山の麓は、日本で初めて天皇から大師号を贈られた「慈覚大師 円仁」の生誕地といわれ、その周辺には大師ゆかりの高平寺や大慈寺がある。

この他にも、岩舟地域には国の重要文化財である村檜神社や県の重要文化財を擁する岩船山高勝寺、大平地域には白石家戸長屋敷、藤岡地域には足尾鉾毒事件の舞台となった谷中村の史跡がある。

豊富な歴史・文化の具体的な振興策をどのように考えているのか伺う。

答弁 佐藤教育次長

県立みかも自然の家と連携を図り地域の活性化につなげたい

三轟山周辺については、本市の歴

○空き家対策
●三轟山周辺を活かした地域振興策



史・文化を知る上で重要な資源が数多くあり、これらを多くの方に知っていただくため、文化講座等の各種講座をはじめ、文化財施設での展示、各種パンフレットや施設案内板等への掲載により、周知を図っている。

また、各地域の歴史や文化財を有効な観光資源と捉え、観光分野等の関係機関と連携し、文化観光の推進を図っていく方針である。

三轟山周辺については、「県立みかも自然の家」の運営も始まったことから、本市の歴史・文化の紹介コーナー設置の働き掛け等、当該施設と連携を図り、地域の活性化につなげるとともに、さらなる歴史・文化の周知やその保存活用に努めていく。



慈覚大師 円仁 像
(岩舟町下津原)



白石 幹男 議員
無会派

国民健康保険税、子どもの均等割は全額免除すべき！

国保税の均等割は、他の医療保険には設けられていない独自の制度で、担税能力の有無に関係なく課税される人頭税と言ってもよいものであり、最悪の制度であると考える。

子どもの均等割については、子育て支援に逆行しているとの批判の聲が上がり、未就学児の均等割は半額に軽減された。

子育て支援のためには、18歳以下の子どもの均等割を全額免除すべきであり、足利市は今年度から全額免除している。

本市も同様に全額免除すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 茅原生活環境部長

子育て世代の負担軽減につながるものと認識し引き続き検討したい

- 学校統合
- 部活動の地域移行
- 国保税の子どもの均等割



国民健康保険税の子どもの均等割額については、令和4年4月から未就学児に係る均等割保険税の5割を公費により軽減しているが、その対象年齢の拡大等は、国民健康保険の制度として、国の責任において行うべきものと考えており、国へ要望している。

また、本市独自の子ども均等割軽減については、昨年の国民健康保険運営協議会において協議が行われ、国保財政の負担や国保税納税者間の負担の公平性等の課題、さらには県が進める保険税水準の統一なども見据えなければならぬことから、慎重に検討する必要があるとされた。

しかしながら、子どもの均等割軽減は、子育て世代の負担軽減につながるものと認識しており、今般、県内で初めて足利市が実施したこと等を踏まえ、引き続き、国民健康保険運営協議会において検討をお願いしていきたい。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



大浦 兼政 議員
自民未来

自治会のやるべき事が多過ぎるのではないかと？自治会が機能しなくなると行政運営は滞ってしまう！

少子高齢化、人口減少社会の中で、全国的に自治会の担い手不足や自治会が解散に至っている状況が問題となっている。

自治会の組織や活動が成り立たなくなると、地域のつながりが薄れるというだけでなく、地域における行政への協力体制の確保も困難となり、まちづくりや行政運営が成り立たなくなるのではないかと懸念される。市にとって自治会とはどのような団体なのか、また、自治会数や加入率の推移はどのような状況なのか伺う。

答弁 佐山地域振興部長

市にとって自治会はなくてはならない存在であると認識している

- 栃木市崩壊！？
- どうなっていくの？
- これからの自治会は！？



自治会とは、地域住民相互の連帯感を育て、地域のさまざまな課題に取り組みながら、まちづくりを進めていく住民による任意の自主的な自治組織であり、住民の声を行政に届けたりするなど、行政との重要なパイプ役としてなくてはならない存在であると認識している。

令和6年4月現在、本市の自治会数は469自治会であり、前年度と変わらないが、10年前と比較すると、4自治会減少している。

また、自治会への加入率は、69.3%であり、前年度と比較すると、1.4%の減少、10年前と比較すると、9.7%減少している。





小平 啓佑 議員
自民未来

虐待等の再発防止に向けて 市はどのように対応したのか

今回の質問の目的は都賀幼稚園の虐待事案の再発防止と栃木市全体の未然防止である。

事案発生確認後の初期の段階において、私は市の対応に緊張感のなさや対応の甘さを感じていた。

事案確認後の市の判断とその判断過程について、本事案はガイドラインにおける虐待等や不適切な保育に該当するのか。また、その判断は誰がどこでどのように行ったのか何つ。

答弁 小川 こども未来部長

聞き取り調査・指導監査を実施した

令和 6 年 3 月 1 日に情報提供を受けて、国のガイドラインに基づき、部長を含む保育課長以下担当職員により部内で協議を行った。



●都賀幼稚園に関する
新聞報道



事案の発生日が不明であること、通報者が第三者であることから、まずは、「不適切な保育」と捉え、園における事実確認が必要と判断し、同日、担当職員が都賀幼稚園を訪問し、聞き取り調査を行った。

聞き取り調査の中で、園児を蹴ったことを認めたため、「不適切な保育」の「虐待」として捉え、指導監査の実施を決定し、園に対して 3 月 12 日、13 日の日程で行った。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



市村 隆 議員
真政クラブ

市内全ての小中学校の体育館に 空調設備の設置を

高度な教育目標を掲げて生徒が熱中症で倒れたら、教育行政の根幹が揺らぐことになる。

小山市では本年 8 月までに市内全ての小中学校の体育館にリース方式で空調設備を設置する。進行する地球温暖化の中、いずれ県内全ての市町が小中学校の体育館への空調設備の設置に踏み切ると思われる。

栃木市は来年 8 月までに市内全ての小中学校の体育館にリース方式で空調設備の設置を速やかに実行すべきであると考え、体育館への空調設備の設置要望の状況と設置予定について伺う。

答弁 青木 教育長

設置時期について今後検討 していく

- 行政サービスの向上
- 小学校・中学校の施設整備
- 産業振興
- 行政運営の諸課題



学校からの体育館への空調設備設置に係る要望状況については、本市の校長会や、教職員協議会から要望があるほか、昨年 12 月に開催された中学生議会においても、部活動で利用する際の熱中症対策として、中学校体育館への空調設備設置に関する質問があった。

夏場における児童および生徒の熱中症予防には、エアコンなどの冷房設備が効果的であることから、普通教室や特別教室への空調設備の設置や更新を優先的に実施している。

教育委員会としては、老朽化した建物の改修や設備の更新、照明器具の LED 化などにも取り組む必要があることから、体育館への空調設備の設置時期について、今後検討していく。





広瀬 義明 議員
自民未来

栃木市の特性に沿った脱炭素 ロードマップ策定が重要

脱炭素に向け、国や県の指標は業務分野や家庭分野にとって、厳しい削減目標となっている。目標達成に向けて、莫大な補助金措置でもない限り達成が難しいと言わざるを得ないのが現状であるが、少しでも目標に近づこうとするならば、市民や事業者への周知徹底による施策の展開が重要となる。

会社や事業所だけではなく、個人もしくは地域の代表の方々が栃木市を網羅するだけの体制を構築できればさまざまな市民への意識付けが可能になると考えるが、市の見解を伺う。

【答弁】 発生源川総合政策部長

市・市民・事業者が一丸となり
取り組みを推進していく

● 栃木市のゼロカーボン 施策 ○ 栃木市の人権施策



本市においては、カーボンニュートラルの実現を目指すことを目的に、電気設備事業者、小売り電気事業者、金融機関、造園業、運送業などさまざまな業種の参画や連携による「栃木市脱炭素促進プラットフォーム」を設置し、各事業者等の持つノウハウや知見を提供していただきながら、産業・業務・家庭・運輸部門等における温室効果ガスの排出削減や再生可能エネルギー導入等の取り組みについて検討を行っているところである。

本市の地球温暖化対策実行計画においては、家庭部門の削減目標を高く掲げており、脱炭素の推進のためには、市民の皆さまからの意見や提案が大変有効であるため、新たにプラットフォームに市民等が参画できる体制を構築し、市・市民・事業者が一丸となり目標達成に向けて取り組みを推進していく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

▶ パレスチナ自治区ガザ地区の早期平和実現を求める陳情を採択し決議を可決

パレスチナ自治区ガザ地区の早期平和実現を求める陳情（提出者：百瀬 彩与子）

【要旨】 栃木市議会において「パレスチナ自治区ガザ地区の早期平和実現を求める決議」を決議することを求めるもの。



6月定例会最終日、請願の採択を受けて、議員案として次の決議が提出され、全会一致で可決されました。

ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

パレスチナ自治区ガザ地区において戦闘行為が始まって半年以上経過した。

国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、断じて容認できるものではない。

このような一方的な虐殺行為は国連憲章・国際法違反に当たり、国際社会の秩序を根幹から揺るがすものである。既に子供たちを含む民間人 4 万人以上という多数の犠牲者が出ている。

先進 7 国（G7）外相の会合においては、テロ行為を断固として非難することや、人質の即時解放を求めることを確認するとともに、ガザ地区の人道危機に対応するため、戦闘の人的休止と人道回廊の設置への支持に関して、緊急声明を発表した。しかしながら一時休戦も長くは続かず戦闘再開に至っている。

また、核兵器使用も辞さない姿勢は、唯一の戦争被爆国であり、福島原発事故を経験した我が国においても、核兵器の廃絶と平和で安心して暮らせる社会の実現を願う非核平和都市宣言をしている本市においても、到底看過できるものではない。

よって、本議会としては、国際社会の懸命な外交努力にもかかわらず、パレスチナ自治区ガザ地区で起こっている全ての戦闘行為を一刻も早く沈静化し、人道的状況の回復、恒久平和に向けた即時停戦が実現することを切望する。

令和 6 年 6 月 19 日

栃木県栃木市議会

令和5年度政務活動費の収支状況をお知らせします

栃木市議会では政務活動費の適正な運用をするため、平成29年4月から後払い式を導入しています。

また、使途の透明性・公開度を高めるため、領収書などの全ての収支関係書類をホームページで公開しています。

詳細はホームページをご覧ください。



収支報告書のページ

令和5年度 政務活動費交付金収支状況（令和5年4月～令和6年3月）

※会派議員数は令和6年3月末現在、（ ）内数字は再掲 ※政務活動費の基準日は各月の初日

（単位：円）

会 派 名		創政会	公明党 議員会	自民未来	かがやき		創志会	真政 クラブ	無会派 白石幹男	無会派 中島克訓	無会派 福富善明	無会派 天谷浩明	計
					4月～6月	7月～3月		4月～3月			4月～6月	7月～3月	
議員数(名)		2	3	8	(4)	3	2	7	1	1	(1)	1	28
議員数変更時期等		—	—	—	—	6月9日 1名離脱	—	6月13日 1名加入	—	—	6月13日 会派解散	6月9日 会派結成	
政務活動費申請額		297,245	604,149	885,677	46,194	467,407	168,424	2,029,039	302,192	80,701	11,495	35,620	4,928,143
政務活動費 交付決定額		297,245	604,149	885,677	46,194	467,407	168,424	2,029,039	302,192	80,701	11,495	35,620	4,928,143
支 出 額 内 訳	1 研究研修費	268,825	202,995	67,180	0	132,985	0	0	73,900	66,575	0	0	812,460
	2 調査旅費	0	206,003	343,315	0	206,001	0	1,686,950	0	0	0	25,026	2,467,295
	3 資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 資料購入費	1,980	161,020	360,817	33,714	94,380	133,312	249,585	207,653	0	0	0	1,242,461
	5 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 その他の経費	26,440	34,131	114,365	12,480	34,041	35,112	92,504	20,639	14,126	11,495	10,594	405,927
実支出額		297,245	604,149	885,677	46,194	467,407	168,424	2,029,039	302,192	80,701	11,495	35,620	4,928,143

交付上限額 月額3万円×12カ月×28人 10,080,000円 (A)
交付決定額 4,928,143円 (B)
 執行率 48.9% (B/A)



議会を見る方法は

傍聴席から

- ・予約は必要ありません。
- ・市役所 4 階に直接おいでいただき、傍聴席入口で、傍聴受付簿（カード）に住所、氏名を記入してください。



※注意事項※

- ・体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。
- ・咳・くしゃみ等のエチケットにご協力をお願いいたします。

傍聴席以外でも

○生中継

本会議の様子は栃木ケーブルテレビ・インターネットで中継しています。

ケーブルテレビ（地上デジタル112チャンネル）

- ・リモコンで「11」を選局し、チャンネルの上ボタンを押してください。



インターネット

議会のホームページからご覧ください。
本会議を全て配信しています。

○録画放送（インターネット）

- ・過去の本会議が見られます。
- ・スマートフォンなどで二次元コードを読み取ると簡単です。



議会中継のページ

9月定例会の予定（変更になる場合があります）

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28	29	30	31
				新聞折込	本会議 議案等提案 決算特別委員会	
9/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
			決算特別委員会 会派代表質問	常任委員会・決算特別委員会分科会 (総務) (民生)		
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日	常任委員会・決算特別委員会分科会 (産業教育) (建設)				
22	23	24	25	26	27	28
秋分の日	振替休日			決算特別委員会 分科会長報告		
29	30	10/1	2	3	4	5
	本会議 議案等採決					

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、8月29日（木）に新聞折り込みを予定しています。

折り込みチラシ裏面には、一般質問で議員がどんな質問をするのかも記載されています。

ぜひ、ご覧ください。



栃木市
マスコットキャラクター
とち介

あとがき

6月定例会では、今期後半の2年間を担う正副議長、常任委員会等が改選され、新体制となりました。

広報委員会も新メンバーとなり、開かれた議会とするために広報活動を充実してまいります。

今議会には、市民の方から「パレスチナ自治区ガザ地区の早期平和実現を求める陳情」が提出され、全会一致で陳情を採択し、市議会として決議（14ページ参照）をあげる事ができました。一人一人が「平和を願う」声を上げていく大切さを痛感した議会となりました。



（白石 幹男 記）

栃木市議会広報委員会

委員長
副委員長

白石 幹男
川田 俊之
小太刀 孝佑
古澤 啓子
内海 ちか
天谷 浩明

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。〈TEL：0282-21-2505〉